

琉球大学学術リポジトリ

復帰準備（対内）（政府調査団派遣等）－総理府、
運輸省、海上保安庁他－(2)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): 復帰準備 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43391

海上保字序

本
林
本
人

アメリカ局長
参事官
北米第一課

新編 糧食

海上保安庁 沖縄に在りて採用
試験実施に付

46.3.19.
米北一(有他)

3月19日 海上保安庁 総務部 富田 教養管
理官 補佐官 吉方と来談し、同庁の沖
縄に在りて採用試験実施に付 下記
の如く説明せられたるに、是等につき米例
の如く行ふべきを請願した。

記

1. 海上保安庁に在りて、沖縄復帰後 沖縄に
在りて 第11管区海上保安本部を 置き、係人員

在
高
米
大
入
申
念
の
通
報
す
る
に
付
き
て
の
事
を
記
す

368名を配置する予定である。(第11管区
海上保安本部 候補生 別添1)

そのうち1名、2名 沖縄復帰に在りて
在りて 多数の希望者を募集し、復帰後
に必要の研修等を実施し、復帰後 第11管
区 海上保安本部に在りて 沖縄に在りて
多くを採取するに 同本部に在りて
とすべし。

2. 編、本年に在りて、本年6月 海上保
安学校 卒業生、本年12月に在りて 海上保安大
学 卒業生及び海上保安学校 卒業生の採用試験
を本年に在りて実施するに付、

その際 同部は 沖縄に在りて 同一試験
を実施するに付、昨年夏以降 沖縄

北洋海軍の協定に基き、昭和46年12月
新に定章を制定し、本年2月

海上保安庁職員を沖波に派遣し、計測所
沖波事務所と種々協定を行つた。

(計測所は総務課 海防課、沖波事務所
同課 活版部等が主として担当した。

3. 今の結果 沖波に在り、本試験の實施
に關し、別添2のとおり 海上保安庁、人事

院(注1) 沖波事務所内の業務分担の案を提
議した。

(注2) 本試験は人事院の管にあり、今の
案に關し、人事院が海上保安庁に委託し

て、合格者の決定等は人事院が(9月)
に決定する。

4. 試験に關する具体的な事項に關し、別添
3及び別添4の資料(参考資料)を仰

ぎ、御座るか、若干附言する所がある。

(1) 本試験の實施に關し、活版部等が
既述の如き方針に基き、既述のとおり

種々異存は在り、御座るか。

(2) 試験場は沖波事務所の合宿室を借用し、
試験公報は試験公告を掲

げる以外、他は在り、御座るか。

(3) 現地に在り、實施は在り、沖波事務所
にあり、海上保安庁は試験官2名を派遣

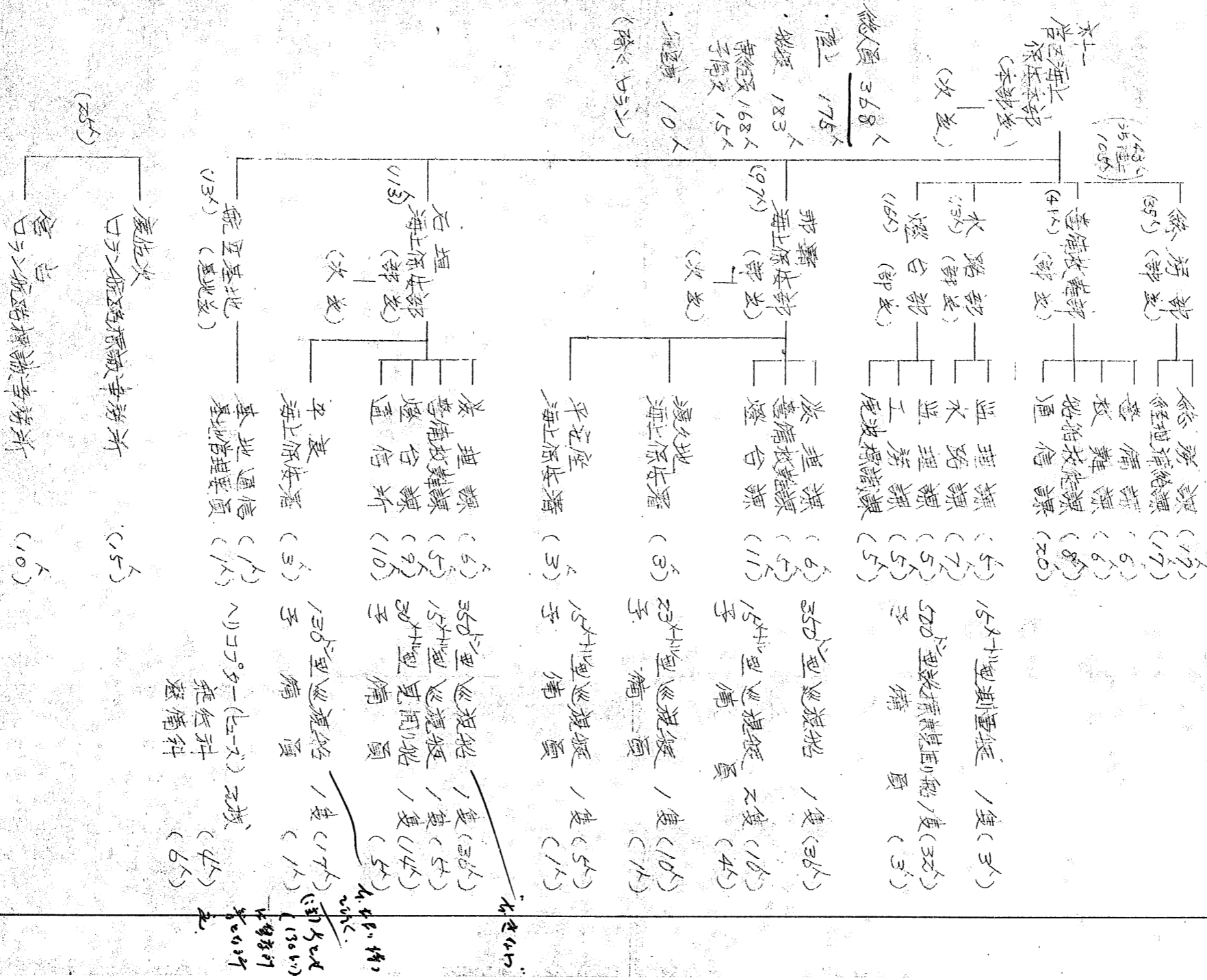
する程である。

5
14) 和25- 試験序内等比 在29602
同... 19... 七... 32...

4C 印刷... 取... 32...

六十一歳海上保安本部機構表

海上保安庁



2015

沖縄における採用試験実施(案)			
項	省庁別	海上保安庁	人事院
1. 広報		(1) ポスター、試験案内を次に直送する 1. 申込書の交付先 ロ 高等学校 37校 ハ 職業安定所 5所 ニ 図書館 3館 (2) 対策庁沖縄事務局(以下事務局という)を通じて次の依頼とする 1. 琉球政府公報等に試験公告の掲載 ロ 現地新聞に記事として掲載	
2. 試験案内および申込書の交付		(1) 事務局に依頼する。 (2) 事務局を通じて沖縄警察署(13署)に依頼する	(受験手数料の納付方法に ついて決定する) (1) 海上保安庁の依頼により、沖縄警察署(13署)に試験案内および申込書の交付を依頼する (2) 試験案内および申込書の交付
3. 申込書の受付		(1) 事務局に依頼する。	申込書の受理・受付
4. 第1次試験		(1) 事務局に試験場ならびに試験関係官6名以上の応接依頼 (2) 首席試験官(総括試験官)現地出張 1. 試験に関する指示、標識等できるだけ本庁で作成し持参する。 ロ 報告書、答案等を持ち返る。	試験問題と事務局に送付する (1) 試験問題の保管、受理報告 (2) 試験場の決定 (3) 試験関係官の指名 (4) 首席試験官の指示と受け、設営および試験の監督
5. 第1次合格者の発表		(1) 事務局を通じて沖縄警察署に実地調査依頼 (2) 事務局に学庁、経庁調査依頼 (3) 第1次合格者名簿の送付	(1) 身上調査票(実地、学庁、経庁)と事務局に送付する (2) 合格者に合格通知の送付(航空便) (1) 身上調査開始 (2) 第1次合格者名簿の掲示 (3) 身上調査票ととりまとめ簿保済に送付する

6. 第2次試験の実施	<ul style="list-style-type: none"> (1) 関係調査カードを事務局に送付する (2) 事務局に試験場および身体検査医師の手配を依頼 (3) 試験関係官5名以上をいかに身体測定用具準備依頼 (4) 首席試験官(総括試験官)現地出張 <ul style="list-style-type: none"> イ 測定用具不足分、試験に関する指示 ロ 標識等持参する ハ 報告書等持ち返る。 		<ul style="list-style-type: none"> (1) 試験場および身体検査医師を手配する (2) 試験係官5名以上の指名、身体測定用具準備 (3) 首席試験官の指示をいり試験場の設営および試験実施
7. 最終合格者の発表	事務局へ最終合格者名簿の送付	合格者へ合格通知書の送付 (航空便)	最終合格者名簿の掲示

第一次試験

教室 海上保安学校 普通科	教室 海上保安学校 水路、燈台科	教室 海上保安大学校
---------------------	------------------------	---------------

試験官	受付
控室	

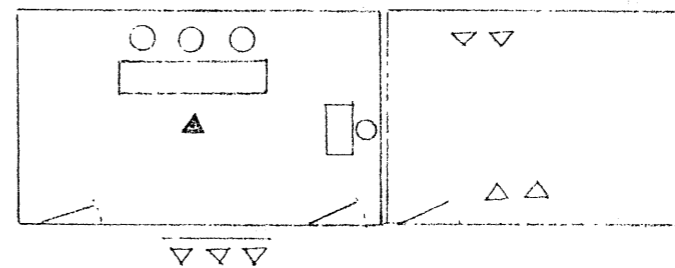
必要人員

試験官、試験補佐官 × 3室 = 6名

受付事務 1名

7名

第二次試験



。人物試験 試験官3名 試験補佐官1名

。身体検査 医師に依頼

。身体測定

視力 }
色覚 } 1名

聴力 }
肺活量 } 1名
握力 }

身長 }
体重 } 1名
胸囲 }

。体力測定

上体起し }
折返(走) } (3名)
片手懸垂 } 身体測定試験官の実施
受付事務 1名 計7名以上

昭和46年度海上保安学校学生採用試験(普通科)施行日程表

46年度
入學院 任用考

月日	4	5	6	7	8	9
曜日	火	金 土 月	木 火	水 木 金	金 土 日	水 木 金
本院	13 新入生発表		6 受付開始 28 校付締切	13 第1次試験合格者発表 14 採点結果処理 18 作文評定結果決定 28 作文評定結果発表	13 第1次試験合格者発表 20 第1次試験合格者発表	6 第2次試験結果発表 18 最終合格者決定 25 採用候補者発表 26 最終合格者発表
地方事務局	15 申込用紙交付開始	28 申込用紙交付終了	29 校付状況報告	13 第1次試験合格者発表 14 採点結果処理 18 作文評定結果決定 28 作文評定結果発表	13 第1次試験合格者発表 20 第1次試験合格者発表	12 身上調査終了 25 最終合格者氏名揭示
海上保安庁	15 申込用紙交付開始	28 申込用紙交付終了 29 校付締切	29 校付状況報告	13 第1次試験合格者発表 14 採点結果処理 18 作文評定結果決定 28 作文評定結果発表	13 第1次試験合格者発表 20 第1次試験合格者発表	12 身上調査終了 25 最終合格者氏名揭示

〔一般行政〕

○ 沖縄復帰に伴う学生採用試験の実施

1972年の沖縄返還に伴う現地勤務の海上保安要員については、次に掲げる理由により、返還前に当庁の教育機関で養成を図らねばならないので、これのために昭和46年度以降学生採用試験を沖縄（那覇市）において実施する必要がある。

理由

1. 人事管理面

酷暑の離島勤務であるため、人事管理上現地出身者を主な職員構成として、職場の定着を図る必要がある。等、*等、この点から*

2. 養成期間面

海上保安官は、職務遂行上海技従事者及び無線従事者等の国家免状の取得を基礎として、さらに、業務上の知識・技能の修得が要件であり、次表のとおり新規採用後長期の養成期間を必要としている。

区	分	教育期間	卒業直後の取得免状	備	考
海上保安学校	水路科	2年	第二級無線技術士	燈台要員	188
	燈台科(含む加修)	2年	第二級無線技術士	燈台要員	37
海上保安大学校	普通科	6月	特殊無線技士(電話甲)	船艇要員	200
	本科	4年6月	甲種海技免状	幹部要員	50

(経費内訳)

区	分	員数	単価 円	金額 千円	備	考	
一般行政	(甲) 海上保安官署 諸謝金	身体検査謝金	3日	10000	30	前期 1日、 後期 2日	計3日
		外国旅費	4人	72840	412	一次試験 2人、 二次試験 2人	計4人
	前期試験実施旅費	4人	72840	291	一次試験 2人、 二次試験 2人	計4人	
		後期	4人	80200	321	一次試験 2人、 二次試験 2人	計4人

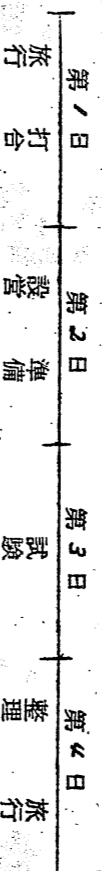
(試験概要)

1 前期試験 (海上保安学校普通科学生採用試験・・・10月採用入校)

第一次試験 (学科試験) 1日間 6月下旬 6月13日～15日

第二次試験 (身体検査、口述試験) 1日間 8月上旬 7月30日～

旅行日程



旅費内訳

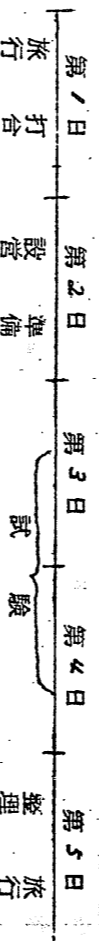
航空賃 日当 宿泊料
 $49,000円 \times 2,200円 \times 0.8 \times 4日 = 7,040円$ $7,000円 \times 0.8 \times 3日 = 16,800円$
 計 23,840円

2 後期試験 (海上保安学校水陸科・燈台科・普通科・海上保安大学校各学生採用試験・・・11月採用入校)

第一次試験 (学科試験) 2日間 1月中旬 12月18-19日

第二次試験 (身体検査、口述試験) 2日間 2月下旬 2月8-9日

旅行日程



旅費内訳

航空賃 日当 宿泊料
 $49,000円 \times 2,200円 \times 0.8 \times 5日 = 8,800円$ $7,000円 \times 0.8 \times 4日 = 22,400円$
 計 31,200円

3 沖縄 (那覇市) 試験

試験場 日本政府沖縄事務局庁舎会議室

試験官 首席試験官、総括試験官の2人は、本庁派遣官をもつてあてる。
 試験補佐官 2～4人は、沖縄事務局職員に委嘱する。

4 募集、受付事務

本庁及び関係管区本部又は保安部署で実施する。